令和4年度口頭発表等一覧

[企画部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
佐藤壮紀	2022	新たな地理空間情報活用推進基本計画	第51回国土地理院報告会
佐藤壮紀	2022	第4期地理空間情報活用推進基本計画について	第24回近畿地方測量技術発表会
佐藤壮紀	2022	新たな「地理空間情報活用推進基本計画」につ	2022年度「測量の日」 中部地区記念行事
7年版7上市6	2022	いて	測量技術講演会
佐藤壮紀	2022	第4期地理空間情報活用推進基本計画	令和4年度「測量の日」記念講演会
/H 350.1 47	2022	第4期地理空間情報活用推進基本計画	令和4年度「地理空間情報の活用推進に関
佐藤壮紀	2022	先生期心理工间 特拟心用征连基本引 四 	する北陸地方産学官連絡会議」
/ / ***********************************	2023	第4期地理空間情報活用推進基本計画	令和4年度 地理空間情報の活用等に関する
佐藤壮紀	2023	先生期心理工间 特拟心用征连基本引 四 	関東地域連携協議会
佐藤壮紀	I 2023	第4期地理空間情報活用推進基本計画と国土地	令和4年度 社会・技術動向講演会
		理院の取組	774441 位 位 が 12441 1244 1244 1244 1244 1244 1244 1

[測地部]				
発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称	
		L-band SAR-based ground deformation		
		monitoring in Japan: Application of ALOS-2		
 	2022	InSAR time series analysis to volcano	Living planet symposium	
佐藤雄大、小林知勝、森下遊 	2022	monitoring(日本におけるレバンドSARによる	(「生きている地球」シンポジウム)	
		地盤変動の監視:ALOS2を用いた干渉SAR時		
		系列解析による火山監視への応用)		
		東北地方太平洋沖地震の余効変動を予測する時		
藤原 智	2022	空間関数モデルが共通の時定数で表現できるの	JpGU2022	
		はなぜか	(日本地球惑星科学連合2022年大会)	
(東京大学生産研究所)、栗原忍、Martin				
Sehnal(BEV オーストリア連邦計量・測量	2022	全球統合測地観測システム(GGOS)-最近の	JpGU2022	
方	2022	活動と日本での連携-	(日本地球惑星科学連合2022年大会)	
ン工科大学 DGFI)			1,01,2022	
山下達也、マービット京湖、田中もも、加川亮	2022	精密単独測位の高度な利用を支える地殻変動補	•	
		正 ~POS2JGD とその将来展望~	(日本地球惑星科学連合2022年大会)	
撹上泰亮、松下拓輝、吉藤浩之、吉田賢司、大 	2022	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	JpGU2022	
森秀一、越智久巳一	-		(日本地球惑星科学連合2022年大会)	
中島正寛、深谷俊太朗、豊福隆史、越智久巳	2022	測地学的手法に基づく光格子時計における重力	JpGU2022	
一、松尾功二	2022	ポテンシャル値の決定と評価	(日本地球惑星科学連合2022年大会)	
深谷俊太朗、中島正寛、飯塚康裕、豊福隆史、		 航空重力データを用いた新たな精密重力ジオイ	InCU2022	
越智久巳一、大森秀一、加藤知瑛、畔柳将人、	2022	ド・モデルの試作と今後の観測計画	(日本地球惑星科学連合2022年大会)	
半田優実、山本宏章、松尾功二		ト・モデルの武作とラ後の観測計画	(日本地球总生科子建立2022年入去 <i>)</i> 	
		房総半島の地盤沈下地域における ALOS-2 高	1-012022	
三木原香乃、石倉信広、島﨑久実、市村美沙、	2022	頻度観測データを用いた干渉 SAR 時系列解析	JpGU2022	
石本正芳、佐藤雄大、山下達也、小林知勝		の検証	(日本地球惑星科学連合2022年大会) 	
		干渉 SAR 時系列解析を用いた阿蘇山における	JpGU2022	
石本正芳、佐藤雄大、小林知勝、宗包浩志	2022	地殻変動の監視(2016 年 4 月~)	' (日本地球惑星科学連合2022年大会)	
·		The Global Geodetic Observing System	(21.01.01.01.01.01.01.01.01.01.01.01.01.01	
宮原伐折羅、Laura Sanchez (DGFI ミュンヘン		(GGOS) – infrastructure for Science and		
工科大学)、Martin Sehnal (BEV オーストリア	2022	Society –	EGU General Assembly 2022	
連邦計量・測量局)、Allison Craddock(NASA	2022	(全球統合測地観測システム(GGOS) -科学と	(欧州地球科学連合大会2022)	
ジェット推進研究所)		(主球机石)別地観測システム(GGO3) -科子と 社会のためのインフラ-)		
		社会のにめのインフラー) アトサヌプリ火山群の収縮変位の継続		
藤原智、 三木原香乃、 市村美沙、 石本正芳、	2022			
小林知勝	2022	- 3 世代衛星による干渉 SAR 観測と ALOS-2	日本測地子会第1 <i>3</i> 8回講演会 	
		時系列解析 —		
藤原智、三木原香乃、市村美沙、石本正芳、小	2022	硫黄島の火山性断層変位の成長過程	 日本測地学会第138回講演会	
林知勝		— ALOS-2 干涉 SAR 時系列解析 —		
 宮原伐折羅、大坪俊通(一橋大学)、横田裕輔				
(東京大学生産研究所)、栗原忍、Martin	2022	全球統合測地観測システム(GGOS) ―最近	 日本測地学会第138回講演会	
Sehnal (BEV オーストリア連邦計量・測量局)	2022	の活動と日本での連携―	ロインベッセコ ムオエリリロ呼次ム	
山下達也、深谷俊太朗、上芝晴香、中村見奈		高フ甘進上して2上のA.D. ロナズを1/47/ビナルコックシー		
子、マービット京湖、三木原香乃、古屋智秋、	2022	電子基準点と干渉 SAR 時系列解析を組み合わ	日本測地学会第138回講演会	
小林知勝		世た地殻変動補正に向けて		
	<u> </u>	1	<u> </u>	

石本正芳、三木原香乃、市村美沙、古居晴菜、	2022	ALOS-2観測データを用いた干渉SAR時系列解	日本測地学会第138回講演会
雨貝知美、佐藤雄大、小林知勝	2022	析による全国地盤変動監視	口不称也了五列130口時度五
髙木悠、加藤知瑛、畔柳将人、小川拓真、豊福 隆史、吉田賢司	2022	南極の昭和基地とラングホブデにおける絶対重 力測定	日本測地学会第138回講演会
髙木悠、石垣真史、中久喜智一、吉藤浩之、阿 部聡、本田昌樹、 森克浩、 佐藤雄大	2022	ITRF2020における石岡VLBI局	日本測地学会第138回講演会
市村和輝、中島正寛、深谷俊太朗、豊福隆史、酒井和紀、吉田賢司、越智久巳一、山本宏章、大森秀一、塩谷俊治、加藤知瑛、畔柳将人、小川拓真、半田優実、松尾功二、鈴木啓、出戸雅敏	2022	東北地方におけるGNSS/水準測量データを用いた精密重力ジオイド・モデルの精度評価	日本測地学会第138回講演会
宮原伐折羅、Laura Sanchez (DGFI ミュンヘン 工科大学)、Martin Sehnal (BEV オーストリア 連邦計量・測量局)、Allison Craddock(NASA ジェット推進研究所)	2022	The Global Geodetic Observing System (GGOS) - infrastructure for sustainable earth observation - (全球統合測地観測システム ― 持続可能な地球観測のためのインフラ)	AGU Fall Meeting 2022 (米国地球物理学連合 秋季大会 2022)
山下達也、深谷俊太朗、上芝晴香、中村見奈 子、マービット京湖、三木原香乃、古屋智秋、 小林知勝	2022	Towards secular crustal deformation transformation combining national GNSS CORS and InSAR time series analysis in Japan (電子基準点と干渉SAR時系列解析を組み合わせた地殻変動補正に向けて)	AGU Fall Meeting 2022 (米国地球物理学連合 秋季大会 2022)
中島正寛、市村和輝、深谷俊太朗、豊福隆史、酒井和紀、松尾功二、越智久巳一、山本宏章、吉田賢司、大森秀一、塩谷俊治、加藤知瑛、畔柳将人、半田優実、小川拓真、鈴木啓、出戸雅敏	2022	Geoid slope validation of a precise gravimetric geoid model for Japan by GNSS/leveling survey in 2021 (2021年のGNSS/水準測量データによる精密重力ジオイド・モデルのジオイドスロープ検証)	AGU Fall Meeting 2022 (米国地球物理学連合 秋季大会 2022)
藤原智、三木原香乃、市村美沙、石本正芳、小 林知勝	2022	アトサヌプリ火山群の収縮変位の継続 - 3 世代衛星による干渉 SAR 観測と ALOS-2 時系列解析 -	日本火山学会2022年度秋季大会
藤原智、三木原香乃、市村美沙、石本正芳、小 林知勝	2022	硫黄島の火山性断層変位の成長過程 — ALOS-2 干渉 SAR 時系列解析 —	日本火山学会2022年度秋季大会
市村美沙、石本正芳、三木原香乃、 古居晴菜、 雨貝知美、佐藤雄大、小林知勝、宗包浩志	2022	干渉SAR時系列解析を用いた阿蘇山における地 殻変動の監視	日本火山学会2022年度秋季大会
本田昌樹、髙木悠、石垣真史、中久喜智一、吉 藤浩之、森克浩、佐藤雄大	2022	全球 VLBI 観測システム(VGOS)の現状と展望	2022 年度 VLBI 懇談会シンポジウム
本田昌樹、髙木悠、石垣真史、中久喜智一、吉 藤浩之、森克浩、佐藤雄大	2022	国土地理院機関報告	2022年度VLBI 懇談会シンポジウム
松下拓輝、撹上泰亮、吉田賢司、酒井和紀	2022	日本全国の地磁気連続観測装置の更新	2022年度CA研究会
酒井和紀	2022	「目には見えない身近な力」を測る -地磁気測量-	第51回国土地理院報告会
古居晴菜、三木原香乃、市村美沙、雨貝知美、 石本正芳、佐藤雄大、小林知勝	2022	衛星画像を用いた地盤沈下の精密監視 ~国家座標管理への衛星画像活用に向けて~	令和4年度国土技術研究会
酒井和紀	2022	GNSSによる標高決定の高精度化に向けた取組 〜新たな標高体系の構築〜	電子基準点を利用したリアルタイム測位推 進協議会 第21回総会講演会
酒井和紀	2022	GNSSで決まる標高がさらに高精度に〜新たな標高体系の構築に向けた国土地理院の取組〜	「測量の日」記念講演会

[地理空間情報部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
藤村 英範	I 2022	地図で人をしあわせにする。 〜地理空間情報によるパートナーシップ〜	第51回国土地理院報告会

[基本図情報部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
3次元点群データに係る国土地理院の取組	2022	折笠 幸平	第51回国土地理院報告会
SAWA Kanako、Sultan KOCAMAN	2022	trained deep learning models in SkySat limages (SkySat画像からの深層学習による建	XXIV ISPRS Congress (国際写真測量リモートセンシング学会大 会2022)
高田悠太郎、稲澤保行、新藤昭彦、岸本紀子	2022	5mメッシュDEMから地図情報レベル25000の 等高線を作成する手法の検討	日本写真測量学会令和4年度秋季学術講演会
佐々木励起、新藤 昭彦、岸本 紀子	2022	災害時における3次元データの視覚化の検討	令和4年度国土交通省国土技術研究会

[応用地理部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
中埜貴元、松多信尚(岡山大学)、西山弘祥 (岡山大学)	2022	Estimating the ultra-shallow underground structure of the coastal lowland of Enshunada Sea by GPR survey Toward elucidation of the development process of the beach levee topography (GPR探査による遠州灘沿岸低地の極浅部地下構造推定一浜堤地形発達過程の解明に向けて)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
石関隆幸	2022	災害の How? Why? What? を伝える〜地形からわかる災害リスク情報の提供〜	第51回国土地理院報告会
栗栖悠貴、宮下妙香	2022	自然災害伝承碑に関する地図情報の整備と活用 の可能性	令和4年度日本応用地質学会研究発表会
中埜貴元(国土地理院)、宇根寛(お茶の水女子大学)、八木浩司(山形大学)、佐藤浩(日本大学)	2022	由布院断層近傍で新たに確認した2016年熊本 地震に伴うと推定される地表地震断層	日本活断層学会2022年度秋季学術大会
研川英征	2022	国土地理院の「1:25,000 活断層図」整備について	日本活断層学会2022年度秋季学術大会 シンポジウム
門脇利広	2023	自然災害伝承碑の取組と利活用	日本地理学会2023年春季学術大会
研川英征、宮下妙香、山中崇希、森今日子、大 田寛之	2023	自然災害伝承碑データとその分析事例	日本地理学会2023年春季学術大会
星野賢史、研川英征	2023	黄金比を用いた地形彩色方法の検討	日本地理学会2023年春季学術大会

[測地観測センター]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称	
大野圭太郎、多田直洋、阿部聡、髙松直史、村	2022	リアルタイムPPPを用いた震源断層モデル推定	'	
松弘規、川元智司		システムの開発	(日本地球惑星科学連合2022年大会)	
三浦優司、佐藤明日花、神宮章克、大脇温子、	2022	火山地域でのGNSS連続観測点を利用した地殻	JpGU2022	
仲井博之、宗包浩志、畑中雄樹	2022	変動モニタリング	(日本地球惑星科学連合2022年大会)	
川元智司	2022	GNSS連続観測システム(GEONET)の解析手	第51回国土地理院報告会	
7.175 [1.17]		法とその発展	737日日土心经机械日公	
OHNO Keitaro、 TAKAMATSU Naofumi、		Improvement of "REGARD": a rapid	The 13th Joint Meeting of the UJNR	
ABE Satoshi、 KAWAMOTO Satoshi、		coseismic fault model estimation	panel on earthquake research	
MIYAZAKI Takayuki、 TAKEI Yoshiki、	2022	system based on real-time GNSS analysis	(第13回天然資源の開発利用に関する日	
MURAKAMI Shinsuke		(REGARDの改良: リアルタイムGNSS解析に	米会議/地震調査専門部会)	
MONANAMI SIIIISUKE		基づく迅速な断層モデル推定)		
大野圭太郎、阿部聡、髙松直史、川元智司、秋	2022	MADOCAを用いたGNSS軌道暦推定	日本測地学会第138回講演会	
山恭平(宇宙航空研究開発機構)				
 川元智司	2022	RINEXデータ前処理ソフトウェア"RINGO"の	 日本測地学会第138回講演会	
		開発(その2)		
		Toward Improvements in REGARD: a Real-		
TAKAMATSU Naofumi、 OHNO Keitaro、		time Finite Fault Model		
ABE Satoshi、 MIYAZAKI Takayuki、 TAKEI		Estimation System Based on Japan's	AGU Fall Meeting 2022	
Yoshiki、 MURAKAMI Shinsuke、	2022	Dense GNSS Array Network GEONET	(米国地球物理学連合 秋季大会 2022)	
KAWAMOTO Satoshi		(REGARDの改良に向けて: GEONETの稠密観		
		測に基づくリアルタイムでの有限断層モデル推		
		定)		
ABE Satoshi、 OHNO Keitaro、 TAKAMATSU		Precise GNSS Orbit and Clock		
Naofumi、KAWAMOTO Satoshi、AKIYAMA	2022	Determination Using MADOCA Software (MADOCAを用いたGNSS精密暦推定)	AGU Fall Meeting 2022 (米国地球物理学連合 秋季大会 2022)	
Kyohei (Japan Aerospace Exploration				
Agency)		(III LOOK (C/IIV //CONOO/IRIL/ICIE/C/		

「地理地殻活動研究センター」

[地理地殻活動研究センター]	3 / /	T	N. A
発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
Pablo J. Gonzalez 1)、2)、Maria Charco 3)、 Yu Jiang 2)、Antonio Eff-Darwich 4)、 Eugenio Sansosti 5)、Diego Reale 5)、Yu Morishita 6) Hiroshi Munekane 6)、 Tomokazu Kobayashi 6) 1)IPNA-CSIC 2)University of Liverpool 3)IGEO-CSIC 4)Universidad de La Laguna 5)IREA-CNR 6)Geospatial Information Authority of Japan	2022	The hows and whys of pre-eruptive magma migration before 2021 Cumbre Vieja eruption(2021年クンブレ・ビエ八噴火前のマグマ移動の仕組みとその理由)	EGU General Assembly 2022 (欧州地球科学連合大会2022)
小沢慎三郎、水藤尚、宗包浩志	2022	2018年以降GEONETで検出された南海トラフ 沿いの長期的SSE	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
松尾功二	2022	An attempt to improve coastal geoid determination by introducing airborne gravity data and a marine residual terrain model (航空重力データと海洋残差地形モデルの導入 による沿岸域ジオイド決定の高精度化の試み)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
松尾功二、大坪俊通	2022	Impact of introducing LEO satellite tracking data on SLR-based gravity field determination (SLRに基づく重力場決定における低軌道衛星追尾データの導入の効果)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
宗包浩志	2022	Monitoring long-term volcanic activities of Aso volcano with crustal deformation: correction of postseismic deformation of Kumamoto earthquake (地殻変動による阿蘇山の長期的な監視:熊本地震の余効変動補正手法の検討)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
岩橋純子、遠藤涼、中埜貴元	2022	Generation and analysis results of fifthorder mesh inventories of earthquake-induced landslides (地震時土砂崩れの5次メッシュインベントリの作成と分析結果について)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
古屋智秋、小林知勝、中川弘之、森下遊、松尾功二、山下達也	2022	Investigation of Crustal Deformation model using daily coordinates of GNSS CORS (電子基準点の定常解析結果を用いた時間方向のモデル化手法の検討)	JpGU2022
遠藤涼、岩橋純子、中埜貴元	2022	Estimation of major seismic factors controlling landslides using decision tree analysis (決定木解析を用いた地震時の土砂災害発生に寄与度の大きい地震情報の推定)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
中埜貴元 1)、松多信尚 2)、西山弘祥 2) 1)国土地理院 2)岡山大学	2022	Estimating the ultra-shallow underground structure of the coastal lowland of Enshunada Sea by GPR survey -Toward elucidation of the development process of the beach levee topography (GPR探査による遠州灘沿岸低地の極浅部地下構造推定一浜堤地形発達過程の解明に向けて)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
小林知勝、佐藤雄大、石本正芳、島﨑久実、石 倉信広、三木原香乃、市村美沙、山下達也、森 下遊	2022	Achievements of ground deformation monitoring using ALOS satellite series at GSI and the way forward (国土地理院におけるALOS衛星シリーズを利用した地殻・地盤変動監視の成果と今後の展望)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)

		_	,
小林知勝 1)、松尾功二 1)、安藤亮輔 2)、中埜 貴元 1) 1)国土地理院 2)東京大学	2022	Spatial relation between fault motions and density structures at the terminus of fault rupture for the 2016 Kumamoto earthquake (2016年熊本地震の断層終端部における断層 運動と地下の密度構造の関係)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
畑中雄樹、阿部聡、村松弘規	2022	Differences in receiving antenna phase characteristics of GPS and GLONASS and their effects (GPSおよびGLONASSの受信アンテナ位相特性の違いについて)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
小荒井衛 1)、川村直輝 1)、先名重樹 2)、中埜 貴元 3) 1)茨城大学理学部 2)防災科学技術研究所 3)国土地理院	2022	Study of landform evolution of valley plain in East Ibaraki plateau based on micro tremor observation results for seismic risk assessment (常時微動計測から推定した東茨城台地内の谷底平野の地形発達と地震時リスク)	JpGU2022 (日本地球惑星科学連合2022年大会)
氏原秀樹 1)、2)、市川隆一 2)、関戸衛 2)、宗 包浩志 3)、宮原伐折羅 3)、小林知勝 3)、寺家 孝明 4)、小山友明 4)、竹内央 5)、今井裕 6) 1)京都大学 2)情報通信研究機構 3)国土地理院 4) 国立天文台 5) 宇宙航空研究開発機構 6) 鹿児島大学	2022	次世代マイクロ波放射計兼広帯域VLBI 受信システムの開発(III)	日本天文学会2022年秋季年会
吉田 一希	2022	1mDEM判読に基づく浅間山天明噴火による鎌原土石なだれ地形面の分布	日本地理学会2022年秋季学術大会
宗包浩志 1)、西村卓也 2)、平松良浩 3) 1)国土地理院 2)京大防災研 3)金沢大学	2022	Transient crustal deformations accompanied by earthquake swarms on the Noto Peninsula, Japan (能登半島で観測された群発地震を伴う非定常地殻変動)	The 13th Joint Meeting of the UJNR panel on earthquake research (第13回天然資源の開発利用に関する日米会議/地震調査専門部会)
小林知勝 1)、松尾功二 1)、安藤亮輔 2)、中埜 貴元 1) 1)国土地理院 2)東京大学	2022	Research on relationship between fault rupture propagation and crustal structure of volcano area: case study of the 2016 Kumamoto Earthquake (断層破壊と火山域の地殻構造の関係について: 2016年熊本地震の事例研究)	The 13th Joint Meeting of the UJNR panel on earthquake research (第13回天然資源の開発利用に関する日米会議/地震調査専門部会)
松尾功二	2022	海洋残差地形モデルの導入による沿岸ジオイド の精密化	日本測地学会第138回講演会
古屋智秋、 小林知勝、 中川弘之、 松尾功二、 松本紗歩、 山下達也	2022	2003年以降の地殻変動イベントを踏まえた電子基準点の定常解析結果の時系列モデルの推定	日本測地学会第138回講演会
小林知勝、三木原香乃、市村美沙、古居晴菜、 雨貝知美、石本正芳、佐藤雄大	2022	国土地理院における干渉SAR時系列解析を用いた火山性地殻変動の監視	日本火山学会2022年度秋季大会
松尾功二	2022	Current status of a gravimetric geoid model for Japan (日本の重力ジオイド・モデルの現状について)	Second Geoid Workshop-IAG-SC2.4e (第2回 IAG-SC2.4eジオイドワーク ショップ)
小沢慎三郎、宗包浩志	2022	2018年以降GEONETで検出された四国域の長期的・短期的SSE	日本地震学会2022年度秋季大会
水藤尚	2022	南海トラフ沿いで発生する大規模地震の粘性緩 和による変動と粘弾性構造	日本地震学会2022年度秋季大会
小林知勝 1)、松尾功二 1)、安藤亮輔 2)、中埜 貴元 1) 1)国土地理院 2)東京大学	2022	2016年熊本地震の断層終端部における断層す べりと密度構造の3次元分布	日本地震学会2022年度秋季大会
岩橋純子	2022	地形量に基づく全球の領域分割データから求め た低地の分布に関する考察	日本地形学連合2022年秋季大会

大野裕幸、浦郁子	2022	地上画素寸法20cm級の空中写真における機械 学習用データセットの構築	日本写真測量学会 令和4年度秋季学術講演会
吉田一希(国土地理院、茨城大・院)	2023	低地の地形解析に適した高精度DEMの作成	日本地理学会2023年春季学術大会
小荒井衛 1)、栗原夏希 1)、岩橋純子 2)、吉田一希 2) 1)茨城大学 2)国土地理院 ※小荒井氏は国土地理院の客員研究員	2023	メッシュサイズとデータソースの異なるDEM の地形解析特性について	日本地理学会2023年春季学術大会
小林知勝	2022	4次元の国家座標を管理する基盤の構築に向けて地表変動の時空間分布を詳細に計測するための研究	